

—スタッフ—

役 職	スタッフ名
部 長	森山 あづさ
非常勤医師	倉田 宝保

—概要—

平成9年10月新病院開院以降、肺癌をはじめ広く呼吸器疾患全般を専門に診療に当たり、平成19年6月1からは呼吸器科から肺腫瘍内科と診療科名を変更し、肺癌をはじめとする呼吸器（胸腔内）腫瘍疾患を専門に診療を続けてきました。

常勤医師は肺腫瘍内科 森山医師 一人ではありますが、他科の協力の下、気管支鏡検査、化学療法、放射線治療、手術などの腫瘍疾患への検査・診断および集学的治療を続けております。

平成22年4月からは非常勤医師として近畿大学医学部から准教授の倉田宝保医師が勤務しており、平成24年4月からは関西医大枚方病院の呼吸器腫瘍科教授に就任される予定です。引き続き当院の毎週木曜日午前の外来と午後の病棟を担当されます。

平成24年度4月からは一般呼吸器内科の診察も近畿大学医学部呼吸器科の久米医師と東本医師、及び大阪大学医学部呼吸器科の平田医師が非常勤として当院へ勤務することで、月曜日から金曜日までの外来診察が開始されました。肺炎、肺気腫、気管支喘息、間質性肺炎など癌以外の呼吸器疾患の診察を担当されます。幅広い多くの呼吸器疾患の患者さんの受診や他院からの紹介受診患者も増え、呼吸器内科からの肺癌疑いでの肺腫瘍内科紹介症例も増加しています。残念ながら現在、呼吸器内科の入院対応はできていない状態です。

森山は平成24年度に“がん薬物療法専門医”を取得しました。今後肺癌にかぎらず、他癌腫の知識も深めながら総合的な癌治療を行う腫瘍内科を目指したいと考えます。

肺腫瘍内科の外来日は火曜日、金曜日が森山担当で、木曜日午前が倉田医師担当です。気管支鏡は月曜日と木曜日の午後行っており、事前の外来受診が必要です。

日本呼吸器関連施設、

日本呼吸器内視鏡関連施設（気管支鏡）

日本臨床腫瘍学会（がん薬物療法専門医 取得）

—実績—

（2012 年 4 月～2013 年 3 月）

気管支鏡症例数 64 例（透視下、内視のみ含め）

肺癌 化学療法、新規肺癌患者 40 例

（化学療法同時放射線治療の化学療法を含む）

他、症状緩和症例 17 例

内、全脳照射例 5 例

悪性胸膜中皮腫 1 例

原発不明癌（後腹膜腫瘍） 1 例

のべ入院患者数 92 人